

## Webcatの試行サービス開始

総合目録データベースをWorld Wide Web上で検索するシステム（NACSIS Webcat）のサービスを試行的に開始します。

このサービスでは、NetscapeやInternet ExplorerといったWWWブラウザから、総合目録データベースを簡単な方法で検索できます。

このシステムの特徴は、以下の通りです。

(1) 検索値を入力するだけで、後はマウスで見たい情報をクリックするだけの簡単操作です。

(2) キーワードは漢字、ひらがな、カタカナ、ローマ字で指定可能です。

(3) 24時間、土日もサービスします。

(4) インターネットを利用できる人なら誰でも利用できます。

(5) 最新のデータを検索できます。

URL は、<http://webcat.nii.ac.jp/webcat.html>です。

## 学術雑誌総合目録の出版

平成7年度からの編集開始以来、約2年間におよぶ全国調査・編集作業が完了し、この度、和文編1996年版を出版することとなりました。無事、改訂を完了することができたのも、ひとえに全国調査にご協力いただいた各参加館の皆様のご尽力の賜物であります。ここにあらためてお礼申し上げます。

今回の編集では、編集期間を従来に比べ約1年間短縮して速報性を高めることができました。CATにオンライン接続して全国調査を行う参加館が年々増加していることが、このことを可能にしたともいえます。なお、オンライン接続館については、1996年11月末日までに入力したデータを収録しております。

また、総合目録データベースの成長に相応し、収録内容も一層充実する結果となりました。今回の冊子体は、前回1991年版の和文編冊子体に比べて収録対象機関数が11%、書誌データ数が21%、所蔵データ数が27%増加しております。

### (1) 和文編1996年版冊子体

規格 : A4版, 1部8分冊  
総ページ : 約7,500ページ  
収録対象機関数 : 780機関  
収録データ数 : 基本書誌数 83,503件, 参照書誌数 35,845件,  
所蔵件数 1,774,286件  
刊行時期 : 平成9年3月  
予定価格 : 本体価格 80,000円  
出版者 : 丸善株式会社

また、センターニュース37号で紹介したWindows対応のCD-ROM新システムの開発が完了しました。和文編と欧文編データの統合編CD-ROM版も、上記冊子体と同時期に出版する予定です。

### (2) 和文・欧文統合編1996年版CD-ROM

規格 : Windows3.1対応版 (Windows95, Windows-NTでも動作可能)  
総データ数 : 約750MB (CD-ROM1枚)  
収録データ数 : 雑誌数 約220千件, 所蔵件数 約3,000千件  
刊行時期 : 平成9年3月  
予定価格 : 本体価格 30,000円 (冊子体購入者は 10,000円)  
出版者 : 丸善株式会社

今回の和文編の編集完了に続き、平成9年度からは欧文編の改訂のための全国調査を開始します。おおむね和文編調査時と同様のスケジュールを予定しておりますので、今回同様、参加館の皆様のご協力をお願い申し上げます。これについては、詳細が決まり次第、またお知らせいたします。

## 総合目録データベースの移行完了

総合目録データベースのサーバへの移行を平成8年12月末に実施し、平成9年1月よりサーバに移行した総合目録データベースの運用を開始しました。  
参加館の皆様のご協力に感謝いたします。

## 移行後の総合目録データベースの問題点について

総合目録データベースのサーバへの移行に伴い、問題点がいくつか発生していました。ほとんどの問題は既に対処しましたが、以下の2点については残されています。

- (1) ILL システムの依頼／受付レコード検索におけるSCANコマンドでのエラー  
SCANの対象となる集合の件数が約2000件を越えると処理時間の上限値（5分）を越えてしまい、エラー（・「SCANコマンドで設定してある検索時間の上限を越えました」・）となります。この処理時間の上限値は移行前にも存在したのですが、その時は、処理能力が高くて通常の件数では顕在しなかったものです。  
現在対応を検討中ですが、移行前に処理できていた程度の件数を処理できるようにするためには大幅なプログラムの改造が必要で、対応には相当な時間がかかり来年度（平成9年度）になる予定です。当面は、運用でカバーしていただくようお願いいたします。なお、統計作成等で支障をきたしている場合は、個別に対応が取れる場合もありますのでご相談ください。  
ただし、根本的な解決はできない問題ですので、本機能を使って統計等を作成されている場合は、なるべく別の方法を開発していただけるようお願いいたします。
- (2) 検索結果集合中のレコードの削除に伴うエラー  
図書所蔵、雑誌所蔵、RECONの各ファイルは、レコードの即時削除ができるようになりましたが、以下の処理がなされるとエラー（・「データベースアクセス中にエラーが発生しました」・）となります。
  - 1) ユーザAがSEARCH、SCAN、LOOKUP HOLDINGS等で検索結果集合Cを作成
  - 2) ユーザBが検索結果集合C中のレコードDを削除（RECONの場合はNCファイルへの移動）
  - 3) ユーザAがその削除されたレコードDにアクセス（BROWSE、DISPLAY、EDIT、SAVE等）

これは、データベースの即時更新に伴う問題であり、エラーを回避することができません。もしこのような状況でエラーが発生しましたら、もう一度検索結果集合を作り直して下さい。エラーが解消します。

## 和洋統合・VOL分割の廃止について

実施の日付を以下のように4月1日とご連絡いたしましたが、4月14日(月)からの実施というように、変更いたしました。

---

和洋統合及びVOLによる書誌の分割の廃止については、平成9年4月1日から実施する予定ですが、以下の点にご注意ください。

- (1) 和洋統合  
現行システムでは、和洋別の画面が残りますが、以下の画面固有の機能はそのまま継続されます。
  - 1) 参照ファイルの検索対象と検索順位
  - 2) 和洋固有の検索項目(和図書のNDLCN, 洋図書のLCCN)なお、AKEYはTTL=jpnで、かつヨミがある場合は和書タイプの、それ以外は洋書タイプのAKEYを作成します。
- (2) VOL 分割の廃止の方針
  - 1) 平成9年4月1日以降はVOLによる新たな書誌の分割は行わないでください。
  - 2) VOLデータは、追加するVOLの直前の巻次を有する書誌に追加してください。また、直前の巻次が不明の場合は最も大きい書誌IDを持つ書誌に追加してください。既に分割された書誌については、学術情報センターで調査しながら徐々に統合化を図っていきます。統合化した書誌については、オンラインニュースレター等で報告いたします。

## 日仏会館所蔵資料の遡及入力事業

昨年度に引き続き、今年度も参加機関のデータ入力支援事業の一環として、日仏会館所蔵のフランス語資料の遡及入力を行いました。今年度は3年計画の2年目で、主に文学、美術、社会科学分野の図書約10,000冊のデータを入力しました。

昨年もお知らせしましたとおり、この事業で入力された書誌レコードに関する書誌調整連絡は、学術情報センターで行います。C R T F A (レコード作成館の参加組織コード) が F A 0 1 1 4 6 3 のレコードで書誌内容に疑義がある場合には、目録情報課図書目録情報係までご連絡ください。また、その際には日仏会館関係の書誌調整である旨、書き添えくださるようお願いいたします。

## 徴収猶予許可番号の統一

国立大学附属図書館では公私立大学等の図書館から文献複写を受託した場合の料金について、あらかじめ申請のあった機関に対しては、文献複写料金徴収猶予許可書を発行し、徴収猶予の取扱いをしています。これまで当該許可書で使用されていた許可番号は、各国立大学が任意に定めていましたが、平成9年4月よりJISの大学・高等専門学校コード(X0408)に統一されることになりました。ただし、JISコード表にない機関につきましては、当面の間、各国立大学が任意に定めます。

それに伴い、NACSIS-ILLの仕様を平成9年4月1日から、以下のように変更いたしますので、公私立大学等の方々ご注意ください。この変更によって、許可制度を利用してNACSIS-ILLで依頼する場合、徴収猶予許可をより多くの国立大学から得ていると、自動転送される館が増え便利になります。

### 【変更後の仕様】

- ・PRMTの有無にかかわらずPARDONを発行すると次候補館へレコードを転送する。

### 【注意】

- ・候補館の選択は、徴収猶予許可を受けている機関／受けていない機関でグループ化してください。区別なく依頼すると、許可されていない機関へもPRMTが入って転送されるケースが生じ、混乱の原因になります。

- ・JISコード表にない機関が、PRMTに徴収猶予許可番号を使用する場合は、その番号を与えた機関のみに対して依頼し、次候補館は指定しないでください。

## 個別版磁気テープ提供サービスについて

総合目録データベースの個別版磁気テープ提供サービスについては、その提供媒体がメインフレーム系の1/2インチテープだけでしたが、最近の図書館システムではワークステーションの採用が多くなり、リプレースに伴う個別版をワークステーションで利用できる媒体で提供して欲しい旨のご要望が多くなってまいりました。

総合目録データベースのサーバへの移行が実施され、サーバで個別版を作成する環境が整いましたので、以下の要領で提供媒体の追加を行います。

- (1) 提供媒体 8 mmテープ及び4 mm DAT
- (2) 保存形式 Unix TAR形式
- (3) コード系 EUC
  - ・カタカナはいわゆる全角2バイト系
  - ・EXCは、NVTコードの上位1バイトに以下の変換を加えた後、8080(16進)との論理和をとった値とする。  
DF -> 75, E1 -> 76, E3 -> 77, E4 -> 78, E5 -> 79  
E6 -> 7A, E7 -> 7B, E8 -> 7C, E9 -> 7D, EE -> 7E
- (4) 提供開始 平成9年4月1日
- (5) 申請方法 別紙「総合目録個別版提供申込書」に記入の上、システム管理課システム業務係に申請して下さい。

なお、以下の点にご注意ください。

- (1) 和洋統合に伴い、和洋別の個別版作成はできなくなります。
- (2) 上記以外の個別版のレコード構造等は現行通りです。目録所在情報サービス利用の手引きを参照してください。
- (3) テープ読み取り装置の機種によっては、センター作成のテープが読めない場合がありますので、あらかじめご相談ください。
- (4) 従来の1/2インチテープによる提供も継続します。この場合、和洋別の作成ができなくなる他は、現行通りです。

# 個別版CD-ROM提供サービス 平成9年度募集について

「個別版CD-ROM提供サービス」の平成9年度募集を以下の要領で行います。

1. サービス提供条件

- ・対応機種及びOS
  - ・NEC-9801VX以降に発売されたPC-98シリーズでMS-DOSバージョン3.3以上。
  - ・IBM-PCまたはその100%互換機でDOS/Vバージョン5.0以上。

対象機関

- ・目録所在情報サービスの参加組織（学総目参加機関を含む）。

収納対象

- ・総合目録データベースに登録された図書・雑誌の書誌・所蔵データ。
- ・図書のみ、雑誌のみでも受け付けます。
- ・今年度から和洋別の作成はできません。

作成単位

- ・単一の参加組織、またはいくつかの参加組織からなるグループ（機関全体や大学と短期大学の集合など）。ただし、後者の場合はグループに属する全ての参加組織の同意が必要です。
- ・他の機関の参加組織を含めたグループも可能ですが、この場合は、対象機関の同意書〔別紙4〕が必要です。
- ・配置コード単位でも作成できる場合があります。

収納件数

- ・上記作成単位の平成9年3月末現在の収納所蔵件数の合計が12万件を限度とします。

提供頻度

- ・年4回、または年1回。

提供セット数

- ・同一のCD-ROMを最大5セットまで。

提供時期

- ・受諾書において個別に通知します。

提供価格

対象件数	1セット単価	2～5セットの単価
3万件以下	10,000円	5,000円
6万件以下	20,000円	10,000円
9万件以下	30,000円	15,000円
12万件以下	40,000円	20,000円

(注1) 対象件数は、平成9年3月末現在の収納所蔵件数。

(注2) いずれも1セットあたりの消費税込みの価格です。

(注3) 例えば、作成対象件数が3万件の機関が年4回（5セット）申し込む場合、 $4 \times (10,000 + 5,000 \times 4) = 120,000$ で、12万円となります。

CD-ROMの保証期間

- ・提供するCD-ROMについては、通常の使用で一年間保証します。通常の使用で障害が生じた場合は、一年以内であれば無償で交換します。

2. 申込締切

平成9年4月30日（水）必着。

3. 申込方法

別紙申込書（別紙1-4）に記入の上、下記にお送りください。

3. 申込・問い合わせ先

〒112 東京都文京区大塚3-29-1  
学術情報センター 事業部目録情報課相互協力係 気付  
財団法人 電気・電子情報学術振興財団  
電話 (03) 3942-6987, 6988 (直通)  
FAX (03) 3944-7131

## 目録情報に関する質問書から (図書)

タイトル中の回次のみが異なる資料の登録方法について

**Q.** タイトル中の回次のみが異なる一連の資料について、図書ファイルに登録する場合、回次を省略記号等で記述し、一つの書誌を作成することはできるのか。

**A.** AACR2Rの第12章逐次刊行物の規定の中には、本タイトル中に号ごとに変わる日付または番号づけがある場合には、スリードットで省略することができるとありますが、図書として登録する場合には、この規定は採用しません。別タイトルの別書誌として扱うこととなります。

正) TR:Proceedings from the First International Conference on Expert Database Systems / Larry Kerschberg, editor

TR:Proceedings from the Second International Conference on Expert Database Systems / Larry Kerschberg, editor

誤) VOL:1st

VOL:2nd

TR:Proceedings from the ... International Conference on Expert Database Systems / Larry Kerschberg, editor

---

ISMNの記録方法について

**Q.** ISMN (国際標準楽譜番号) は、どのフィールドに記録するのか。

**A.** ISMNについては、OTHNフィールドに「ISMN:」というコードを先頭に付けて番号を記録します。コーディングマニュアル付録1.7の番号の種類コード表を改訂して、ISMNを追加することにします。

## I L Lシステムに関する質問書から

**Q.** 新たにBLDSCへの依頼を始めようと思い、「参加組織メンテナンス」にBLDSCのユーザコードパスワードを入力しSAVEした後、BLDSC宛の依頼レコードにORDERコマンドを発行した。

ところが、「ユーザコード/パスワードが存在しません」とのエラーが出た。即時更新であればすぐに依頼できる筈なのに、どうしてなのか。

**A.** 一度ログアウトし、接続しなおしてください。次回ログイン時から、BLDSCへ依頼することができます。

データベースのサーバ移行に伴い、レコードは全て即時更新となりましたが、自館の参加組織データは参照頻度が高く、その都度検索するとサーバの負担が大きくなります。

そこで、サーバの負荷を減らすために、ログイン時に自館の参加組織データを一度読み込み、ログアウトするまで同じデータを参照する仕組みになっています。そのため、データベース上では更新されていても自らが参照するデータは更新前のままなので、質問のようなエラーが発生してしまいます。

この場合は、一度ログアウトし再接続すれば、最新の自館の参加組織データを再度読み込み、エラーは解消されます。

ご質問の場合以外にも「参加組織メンテナンス」で修正を行われた時には、一度ログアウトして参照する参加組織データを更新をするようにしてください。

## 総合目録小委員会の開催

〔平成8年度第2回総合目録小委員会〕

標記委員会は12月16日（月）14：00～17：00に開催されました。  
今回の委員会では、目録情報関係の事業報告の後、

1. 著者名典拠レコード修正指針について
2. 中国語資料の取り扱いの検討について
3. 雑誌書誌レコードコーディングマニュアルの作成について
4. 「目録情報の基準」の改訂について

について、各検討班からの作業状況報告がありました。各々の懸案について全体で討議した後、班毎に分かれ、各自の作業状況や、今後の進め方について検討が行われました。

## 中国語資料データベース化検討ワーキンググループの審議内容

平成8年度第2回中国語資料データベース化検討ワーキンググループ

日時 : 平成9年12月6日(水) 14:00~17:00

### 1. 中国語資料の取り扱いの検討事項について

- ・ 「文字の取り扱い」に関して  
書かれたままの文字を記録する際に問題となる点について検討した。  
「ヨミの取り扱い」に関して  
ピンインと日本語ヨミの入力について検討した。
- ・ CHINAMARCについて  
CHINAMARCの実態調査に基づき、参照ファイルとする際の問題点を検討した。
- ・ 著者名典拠レコードの現状について  
著者名典拠レコードの現状の分析と問題点の指摘を行った。
- ・ 決定事項の確認  
以下の3点が確認された。
- ・ 適用する目録規則は、原則としてNCRとする。  
文字は書かれたままの字体で記録する。  
ヨミはピンインと日本語ヨミの2つを入力することができる。